

2020年 東作協 春の学習会

① 実践を語る 午後1時30分～3時30分

「どの子ども大切に」

～あまりにもありふれたテーマですが…これが一番ぴったりでして～

講師 **西原幸子**さん(八王子市立由井第二小)

こんな話を

教師になっての過ぎた年月をふり返ってみると、うろたえたり、立ち往生したり、赤面したりと、今でも心苦しくなることが多いです。けれど、私の特技は立ち直りが早いこと。よほどのことでない限り「まあいいか、次は…」と言い聞かせ、進んできました。そんな中で得たものが支えになっているように思います。「これだけは大事にしてきたこと」をお話しします。

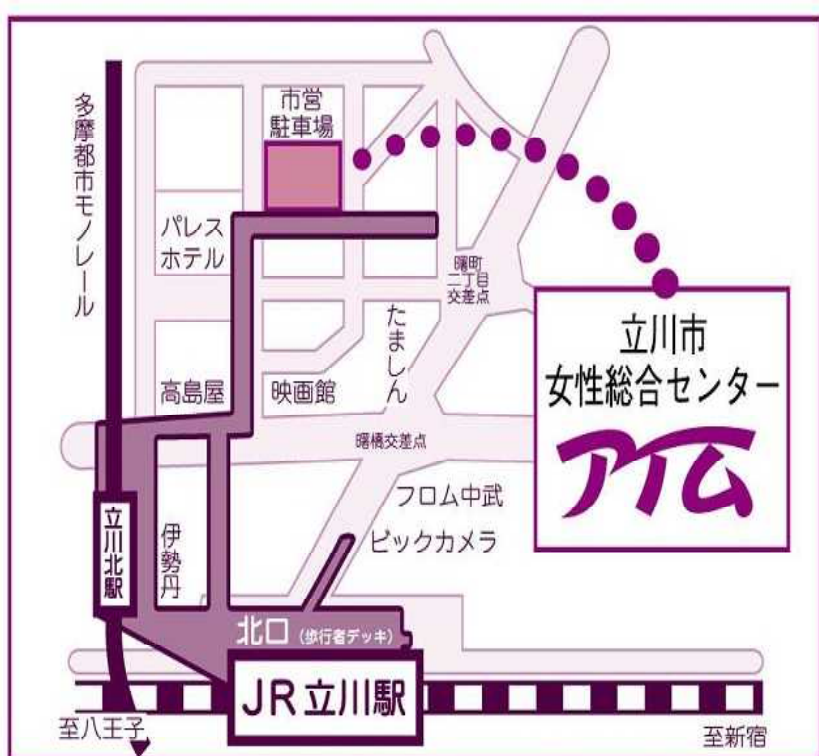


私は、初任の学校で西原先生に出会いました。先生は、定年を過ぎてもまだ教壇に立ち続け、妥協をしません。そのパワーの源は教育への熱い情熱です。そんな西原先生から、今まで心揺さぶられるたくさんのアドバイスがありました。

- ・しいたげられた子、弱い子は、いっぱい誉めて声をかけて初めて、できる子と同じスタートラインに立てるんだよ。
- ・子どもに教えたいことは、自分がせめて努力しなくてはならないよ。
- ・階段を上るように一つずつ詰めていかななくては、ヘナヘナな子どもになってしまうからね。
- ・大変な子を見ていると、つい叱ってしまうから、いつそのこと見ないようにしている。でも、心ではいつも見ているんだ。 などなど…。

私の教師生活の中で西原先生に出逢ったことが一番幸せなことです。

吉井裕美



② 西原さんに聞いてみたいこと

午後3時30分～4時15分

③ 文詩集『東京の子第46集』

作品応募のすすめ

午後4時15分～4時30分

終了後、懇親会を開きます。

- 日時 4月4日(土) 午後1時半～5時
- 会場 立川市女性総合センター「アイム」
- 参加資料代500円
- ◆主催:東京作文教育協議会 (午前10時～12時には、同会場で東作協の事務局会を開きます。)